



YRS YODOGAWA
RASENKAN
SEISAKUSHO

日本品質の【Made in Vietnam】へ

株式会社淀川螺旋管製作所は、ジェトロがベトナムで開催した「部品調達展示商談会」に継続出展し、現地での部品や部材の調達先を発掘している。日本で簡単に探せる材料も、技術力や工場の生産能力の問題等があり現地ではスムーズにはいかない。ベトナム人がベトナムの材料を使い製造する日本品質の【Made In Vietnam】を目標に製品開発を図る。

株式会社 淀川螺旋管製作所

大阪府大阪市西淀川区

目に見えないところで生活を支えるフレキシブルチューブ

ステンレス製パイプに波状の成形を加え、柔軟な可撓・伸縮性を持たせた「フレキシブルチューブ(伸縮管継手)」。普段壁などに隠れていて目にする事があまりないものの、製鐵、化学、ケミカル、造船、建築、自動車など、生活のあちこちで使用されている品物である。小さな物はφ6(直径6ミリ)、大きな物ではφ5000(直径5メートル)を超えるものも製造する。



研修員制度の活用、展示商談会での出会い

競合他社との価格競争が激しさを増す中、同社は中国へ進出、部品の調達などを進行させた。ところが、予定の一ヶ月～二ヶ月も納期が遅れたり、通関上のトラブルが発生したりと安定供給が予想以上に難しい。調達先を多様化し、そうしたリスクを緩和するために進出したのがベトナムであった。研修生制度を利用して受け入れたベトナム人の多くが、勤勉で優秀、なにより親日な点に魅力を感じたのがベトナムに目を向けたきっかけであった。



ジェトロの部品調達展示商談会へは研修生受入団体からの紹介で初出展し、その後継続して出展している。展示会では毎回新たな部品企業との出会いがある。多くの売り込みから厳選し、訪問と打ち合わせを重ねることにより、ある程度希望する品質と価格での調達が成功しているという。2011年の出展では、継手類の調達に関してベトナム企業との技術提携を開始することができた。また、展示会では日系企業間の情報交換や交流を持てることも大きな魅力だ。同じく出展していた日系企業からの紹介により、課題であった現地での固定化熱処理にメドが立ってきた。このように展示会を機会としてベトナムでの製品開発上の課題を毎年クリアしてきているという。



ベトナムでのビジネス環境

生産コストの面では、人件費が高騰ぎみとは言え、毎月のように変動がある中国と比べて安定しているという。品質面については、同社が求める品質へ前進する意気込みをベトナム企業から感じている。ベトナム企業から部品を調達する際は品質検査を毎回行っているが、製品不良が発生した場合にも代品での対応で済んでおり、返金や保証問題にまで行き着くことはほとんどない。これはベトナム企業が不良に対して前向きな改善努力を示してくれるからだという。

同社はベトナム人がベトナムの材料を使い製造する日本品質レベルの【Made In Vietnam】を目指し、更なる取引先の発掘や、製品開発指導に取り組んでいる。

企業名: 株式会社淀川螺旋管製作所
 企業所在地: 大阪市西淀川区佃4-10-15
 企業電話番号: TEL: 06(6475)2102(代表)
 企業ウェブサイト: <http://www.flexible.co.jp/>
 設立年: 昭和39年12月16日 従業員数: 40名